

会 議 録

1 会議名

平成 29 年度 4 回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) H29 年度地域活動支援事業について（公開）

① 委員同士による意見交換

3 開催日時

平成 29 年 6 月 6 日（火）午後 6 時から午後 8 時 5 分まで

4 開催場所

上越市役所木田庁舎 4 階 402・403 会議室

5 傍聴人の数

1 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：今井 孝、太田一巳、大竹明德（副会長）、加藤幸吉、金子隆一
 渋木 俊（副会長）、田沢 浩、田中幸晴、谷 健一、新野武宣、野澤武憲
 橋本桂子、藤田晴子、星野 剛、松田光代、吉田幸造（会長）、吉田 実
 鷲澤和省（欠席 2 人）
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【野口係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【吉田会長】

- ・ 会議録の確認：橋本委員に依頼

議題「(1) H29年度地域活動支援事業について」の「①委員同士による意見交換」に入る。意見交換の進行は大竹副会長から行っていただくが、よいか。

(「よし」の声)

話合いの方法は、全体会で行い、1事業当たり10分を限度に行うこととしてよいか。

(「よし」の声)

では、事務局により、9分になったら予鈴を鳴らし、10分に達したら終了のベルを鳴らしてもらう。なお、ここでの発言は最終的な自己採点に生かすものなので、まとめる必要はないことを改めて確認しておく。これより進行を大竹副会長に願います。

【大竹副会長】

進行を交代した。整理番号の順番に意見交換を進めていく。発言者は挙手の上、指名されてから発言をお願いします。また、発言が特定の委員に偏らないように、調整させていただくことも予め了解いただきたい。

【鷺澤委員】

確認したいが、基本的に税金を取り扱っているということと、特定の団体の利益代表ではないということのをこれまで確認してきた。自分の所属する団体の意見には、可能な限り控えていただきたい。

【田沢委員】

利益代表とあったが、どなたがどの団体か分からないので、教えてほしい。

【鷺澤委員】

該当している本人が控えていただければ足りる。

【大竹副会長】

では始めていく。「春-1 小学生の音楽による地域の絆づくり支援事業」についてご意見のある方は挙手願う。

【吉田実委員】

今までの経緯を知っているので、補足説明する。楽器の購入については、春日中学校が2次募集で500万円近い金額で楽器を購入している。その次に、高志小学校が金額は多くはないが、楽器を購入していて、今回が2回目の申請だ。春日小学校は今までない。後援会等で補助したいが、そこに回す資金がないということで、地域活動支援事業に提案されてきている。

【鷺澤委員】

学校では部活動費があるが、楽器を購入するお金は小中学校にはないし、教育委員会からもない。

【谷委員】

高志小学校では、楽器が不足しているので、他校から期間限定で楽器を借りている状態である。

【大竹副会長】

他に意見はあるか。

(発言なし)

次の「春-2 高齢者の健康づくり活動（まちづくり）と地域交流事業」について、意見を求める。

(発言なし)

次に「春-3 春日野いきいきサロン事業」について、意見を求める。

【鷺澤委員】

提案書のなかで「かわら亭」で入浴料等が記載されているが、入浴料は自己負担の団体があるので、他の団体と合わせたほうがよい。

【藤田委員】

20人のメンバーは一部の人への支援となるが、今回だけ特別なのか。

【大竹副会長】

人数が限られていて、もっと広く周知して人数を増やしたほうがよいという意見だが、他にあるか。

(発言なし)

次に「春-4 木田新田町内活性化事業」について、意見を求める。

【加藤委員】

町内会で購入できないかと質問したが、これに補助金を出すのは反対である。私の町内も、お祭りの法被や民謡流しの浴衣は、全て町内会費で賄っている。質問の回答で、町内会費は町内会館の補修のために毎年50万円ずつ積み立てているので予算的に厳しいと言っていたが、積み立てている中から出せばよいと思う。

【金子委員】

私の町内では、法被は町内会費から払うが、2、3年計画で揃えている。一度に全部揃えるのではなく、少しずつ揃えればよいと思う。

【星野委員】

各町内では、備品を揃えるのに地域活動支援事業を使った前例があるのかという質

問をされたらよいと思う。

【大竹副会長】

意見交換なので、質問への回答はない。他にあるか。

【鷺澤委員】

木田新田町内は月2千円の町内会費で、私の町内の4倍である。人数の少ない町内なので、一部認めて対応してもよいと思う。

【大竹副会長】

他にあるか。

(発言なし)

次に「春-5 春日山城跡松林の保全等支援事業」について意見を求める。

(発言なし)

個人の意見になるが、子どもたちも毎年参加して良い事業だと思う。是非、推進していただきたいと思う。

他にあるか。

(発言なし)

次に、「春-6 中門前3丁目助っ人隊高齢者・障害者等の災害支援活動事業」について意見を求める。

【鷺澤委員】

これは町内の独自の事業なので基本的には、行政が対応することだと思う。

【大竹副会長】

この提案は3つの町内が1つの町内会となっており、各々で提案してということである。

【田沢委員】

ここは私の町内だが、昨今の総会では分離した方がよいのではないかという話が出るような状況なので、提案はもっともなのかとも思う。一連の行政区という範囲ももっともなので、少し悩んでいる。

【大竹副会長】

次に「春-7 未来のバレーボール選手の育成及び青少年健全育成事業」について意見を求める。

【藤田委員】

指導者資格の取得についての回答が、資格がないと試合に参加できないとの返答になっているが、個人的には指導者資格は個人負担だと思う。

【加藤委員】

ソフトボールのチームに入っているが、当然、指導者資格がないと登録ができない。どのチームもそうなので、このチームでも実費でやるのが筋だと思う。

【吉田実委員】

指導者資格については、減額採択等で調整すればよいと思う。1期も2期も、スポーツ関係の補助は積極的に行ってきた。プロ選手が生まれる可能性もあるので、春日区として理解していただくとよいと思う。

【田沢委員】

プレゼンテーションで実際にユニフォーム等の劣化を確認できた。ユニフォームは成長して着られなくなるという話をもっともだと思ったが、まるっきり貸与となるので、貸与料もあれば文句がないのかなと思った。

【金子委員】

小学生のトレーニング用品とは、どのようなものがあるのか。そのような用具は必要ないと考える。工夫すればトレーニングできると思う。次に、予備費は県大会出場になったら使用するというが、余分に計上するというのは疑問に思う。

【谷委員】

スポーツを通しての青少年の育成は大事だが、その中の部分的な項目は採点の際に考えればよいと思う。

【大竹副会長】

他にあるか。

(発言なし)

次に「春-8 春日区の交通安全のための交通安全推進活動並びに交差点関連路面標示修繕事業」について発言を求める。

【鷺澤委員】

春日区の交通安全協会は、全世帯から協賛金を集めている。平均180万円くらいの収入があり、地域活動支援事業を利用しなくてもできる部分がある。協賛金といえども、公金だし、地域活動支援事業費は税金である。足りなければ地域活動支援事業費が補助してもよいが、最初から補助金を求めて、それを承認するのはおかしいと考える。

また、協議会委員自身がプレゼンテーションを行ったが、これは初めての経験だった。特定の団体に属する委員自身がプレゼンテーションをするのは、今後やめていただきたい。また、スクリーンに映っている写真を見たら、委員の何人かがいたが、協賛金で賄っていただき、補助金は忘れていただきたい。

【大竹副会長】

次に「春-9 安全に安心して暮らせるまちづくり事業」について意見を求める。

【鷺澤委員】

保護司として、同じような防犯活動を行っている。私たちは腕章とネームプレートだけで活動を行っている。帽子がなければ巡回指導ができないのかと考える。一昨年度は不採択だったが、昨年度は採択された。地域活動支援事業の中から帽子を数百個作るのはいかがでしょうかと考えて採点していただきたい。

【大竹副会長】

次に「春-10高齢者の生きがいづくりと地域交流事業」について意見を求める。

【今井委員】

質問2で、ヘルパーや看護師にお弁当を出すのはよいが、大学生のボランティアに出したいと言っていた。私自身は、基本的にボランティアは手弁当でやと思っている。

【藤田委員】

写真代が引かかる。年を取ると、もう写真は不要だという場合が多い。写真を見て喜ぶ年齢ではないと思うので、他のところに使ったほうがよいと思う。

【田沢委員】

基本的には、写真は個人負担だと思う。記録だけあればよいということであれば、会の中でだけあればよいと思うし、また集合写真だけでよいと思う。

【今井委員】

プレゼンテーションのときにも、提案者より写真はなくても仕方ないと仰っていたので、それを採点に反映させればよいと思う。

【橋本委員】

写真は、誰かとのコミュニケーションのツールになると思う部分もあるので、いろいろな可能性を考えて個々に採点していただきたい。

【大竹副会長】

次に「春-11 大学前仲間づくりと生きがいづくり交流サロン事業」について意見を

求める。

【鷺澤委員】

写真については、年金暮らしの人が多いので参加者負担は厳しいということもあったが、個人の手元にいくものなので、税金の使い道としては違うと思う。

【吉田実委員】

高齢者の生きがいの場づくりは、各町内で取り組む活動だと思う。新しくできた町内なので、音頭を取って活動されているのはよいと思う。今回は予算を超過しているし、継続して提案されているので、減額の調整が重要だと思う。

— 休憩（10分間） —

【大竹副会長】

会議を再開する。

「春-12 『プレハブトイレへの壁画制作』春日山駅前の美化事業」について意見を求める。個人的に、観光を求める地域で、あの貧弱なトイレはどうかと思っていたが、意見はあるか。

【松田委員】

春日謙信交流館はあるが、観光客からも観光地の空気を感じないと聞いているので、是非描いていただけたらと思う。

【今井委員】

団体から、減額提案が来ているので、それでよいのではないかと思う。

【加藤委員】

現場を見ていないので分からないが、みっともないという話をきいた。だが、そこに絵を描く必要があるのか分からない。しかも、それを地域活動支援事業で行う意味が分からない。

【谷委員】

他県から来ている大学生が、現地を見ながら顧問の先生と現地を見たりした中で、春日山駅前が何もなくて寂しいと感じている。これをやれば少しは綺麗になるのかなということで、個人的にはよいと思う。

【大竹副会長】

次に「春-13 春日山城跡監物堀（総構部分）遊歩道整備等の事業」について意見を求める。

【鷺澤委員】

春日山城跡の保存整備や春日山の観光を発展させるにはよいと思うが、この団体はもう一つ事業を提案しており、春日区の配分予算額の4分の1を占めている事業である。行っている内容については賛成だが、予算には枠があるので、分けてやっていくなど、考えていかなければいけないと思う。

【大竹副会長】

金額が大きいので、数年に分けてやっていただけたらと私も思う。他にあるか。

(発言なし)

「春-14 春日山モルツミニバスケットボールクラブ事業」について意見を求める。

【太田委員】

中身を見て精査するところはしなければいけないが、子どもたちが活発に活動できれば、地域が元気になると思うので応援してあげたい。

【大竹副会長】

次に「春-15 御館リバーサイド環境美化事業」について意見を求める。

今までは、謙信公祭の前に春日区全体で御館川の草刈りをして環境美化整備をしていたが、昨年度から大豆町内会が中心になって行っている。今まで春日区全体で行っていたものを、1町内だけで行うのは大変だということも考慮いただきたい。他に意見はあるか。

(発言なし)

次に「春-16 上杉謙信公から学ぶこどもの健全育成事業」について意見を求める。

【吉田実委員】

観光振興で魅力的な取組であり評価したいと思うが、予算を超過しているので、減額等も考慮していただけたらと思う。

【橋本委員】

質問5の回答を見ると、事業計画の予算にあがってきていない、動画の制作を協議済みと書いてあるが、それは今回の計画ではなく、次の段階のものがここに盛り込まれている。

【大竹副会長】

私もこれを見て、少しおかしいと感じた。

【田沢委員】

そもそも、事業名が「上杉謙信公から学ぶこどもの健全育成事業」となっていると
ころが気になっている。

【田中委員】

甲冑は何着を想定されているのかが、書いていない。一気に揃えるというよりも、
分割で揃えていくのがよいと思う。また、一義会も地域活動支援事業で購入している
ので、試着体験に使えるのではないかと思う。この団体だけで管理運営するよりも、
一義会からも借りることもできるのだから、有効にしないと。一気に揃えるのはいか
がなものかと思う。

【今井委員】

相見積の質問は私がしたのだが、謙信公祭で使っている甲冑は受注生産で鹿児島
の会社で、他にはないとのことだった。専門的な技術が必要な甲冑だからそうなるのか
もしれないが、理想は市内の業者に発注できればお金が外に逃げなくてよいと思う。

【金子委員】

子どもの甲冑を昨年度は購入されたので、試着体験の見学にいった。試着体験はと
ても時間がかかり、何人か希望者がいた場合は、相当待つことになる。もっと簡単に
着られるものでないと、着させる方も大変だし、待っている人も大変だと思う。また、
この活動が地域を活性化させることになるのかも不思議に思う。

【大竹副会長】

次に「春-17『コミュニティガーデン』整備活用事業」について意見を求める。

【加藤委員】

放置された場所を利用しているのに土地の借用料を払うことは疑問に思う。環境整
備などでは非常によい活動だと思うが、私の町内でもそういった土地で畑をしたり花
を植えたりしていて、逆に謝礼金をいただいている。草刈などの管理をしているので、
それくらいのものであればよいと思う。

【今井委員】

今の補足だが、プレゼンテーションのときに、地権者の方から無償でよいと言われ
ているとのことで、今回は削除するとの話だった。

【鷺澤委員】

現地を見に行ってきたが、大型の耕うん機で耕してあり、いろいろな苗が置いてあ
った。苗や耕作地、借地料まで地域活動支援事業を出してまでやる必要があるのか。

行政も地域を斡旋して、年間いくらというようなかたちで土地を貸し出しているところもある。斡旋事業であれば納得できるが、苗代から始まり、その他諸々まで出すということについては、内容が違うと思う。

【今井委員】

プレゼンテーションのときに出てきたが、エゴマを栽培する話は、やってみたら上手くいかなかったということだった。それを経験としてよかったとするのか、税金の無駄使いをしたという結果の総括がなされないまま、次にまたこれをやるのは、腑に落ちないと思う。

【金子委員】

今後考えていただきたいのだが、コミュニティガーデンを春日山の遊歩道の淵に、こういう活動を取り入れていただきたい。広い場所なので自由に使えるし、観光客の目の保養にもなる。お互いに協力しあってやっていただけたらと思う。

【大竹副会長】

次に「春-18 春日野デュークス幼年野球活動事業」について意見を求める。

【太田委員】

年々メンバーも減ってきて運営も大変な中、頑張っていて活動されている。子どもたちは活動により元気につながると思うので、応援していけたらよいと思う。

【大竹副会長】

次に「春-19 中門前2丁目自主防災サポーターズ事業」について意見を求める。

【星野委員】

上越市の自主防災活動のマニュアルにより、災害時の備品を揃えるものも一理あるのだが、ソフト面の活動の手順やマニュアル、例えば、ご近所と災害のときにどうしたらよいかの活動も自主防災の活動である。高額なお金をかけて揃えるのも一理あるが、きりが無い。どこの町内でも、そのような活動をしているので、他の町内からも備品が欲しいとの声もあがってくると思うので、配慮をお願いしたい。

【大竹副会長】

次に「春-20 にぎわいのあるまちづくり（春日地区の歴史文化に触れ合う）事業」について意見を求める。

【今井委員】

地域の活性化は、非常に反対しづらいテーマである。実際に行政も地域活性化の事

業をいろいろやるが、最近では本町に町家を改修してシェアハウスを作った。春日地区の歴史文化に触れ合うというのがあるのだが、人を集めないと意味がないということが先に来てしまい、春日地区の歴史に関係のないパフォーマーを呼んだりしている。人を呼ぶのは、芸能人を呼ぶのと同じで、そのときだけある。地元のよいところや、地元の人たちを生かすことに注力してほしいと思う。来年度もパフォーマーとクラシックカーというかたちで続くと、惰性にならないかと危惧している。

【谷委員】

昨年度の行事を見学したが、一番お客が多かったのは春日中の吹奏楽部の演奏のときだった。パフォーマーのときは人がそれほど多くなかった。補助金を地域に還元するのと一緒に、地域の皆さんの力を借りて組み合わせるなど、やり方そのものを考えていけばよいと思う。

【鷺澤委員】

お金をかけてパフォーマーを呼べば人は集まるが、春日区の活性化にはつながらない。春日地区の中で紹介し、理解してもらいたいアイデアを絞って工夫していけば活性化につながるが、活性化という観点から地域活動支援事業の活用を考えていただきたい。

【田沢委員】

物の購入ではなく、ソフト面の確立をしっかりとしなければいけないと思う。来場者の意見を集約するなどしなければ、継続性はないと思う。

【吉田実委員】

今までの経緯は、春日商工振興会は過去にも事業をやってきた。最初は、地域の皆さんの交流だったが、そこに外部の人も呼ぶことになったと思う。昔は、春日謙信交流館は業者に丸投げで、商工振興会も手出ししなかった。最近は手作りの祭りになりつつあるので、そういうかたちでどんどん進めていっていただければよいと思う。継続していけば、立派な祭りになると思う。

【大竹副会長】

これで全ての意見交換が終了した。会長に進行を戻す。

【太田委員】

全体の質問の中で、各事業に対する批判的な意見ではなくて、助言を含めた意見もあった。提案者に協議会からの意見をまとめてあげると、来年の提案内容がよい提案

になるのではないかと思います。何か協議会からアドバイスができる機会を、この1年間の
中で作ってみたらどうか。

【吉田会長】

仰るように、提案者と意見交換をすれば、アドバイスがもっと出てくるかもしれない。
皆さんはどう思うか。

【橋本委員】

通年、採択決定のときに、不採択や減額採択のときは理由を付けて、次の活力につ
ながるように渡している。そこに、アドバイスのようなものを盛り込むかは、事務局
にまとめていただき、伝えていただければよいのではないかと。また、フィードバック
する機能が地域活動支援事業には欠けている。事業を提案され、採択された暁には、
協議会委員が実際に伺って見る必要があると思う。エゴマの話もそうだが、費用対
効果のような何かしらの評価をきちんとする機能がついていないことがよくない。こ
れからの協議会の課題のひとつだと思う。

【吉田実委員】

最初、太田委員が言った内容は、過去にも協議会で出たことがある。提案について
の意見を直して再提案する時間がないので、今後の課題ということであった。提案し
た時の内容で審査するのが原則である。採択の際に、審査の段階で出た意見も参考に、
減額の理由とは別に付けてもよいかもしれない。実施後のフォローや評価の検証が甘
いので、今後の検討の課題の1つにしていけばよいのではないかと。

【吉田会長】

事務局はどう考えるのか。

【野口係長】

助言を伝えたらよいのではないかとということでは、今回の提案では、この企画でや
りたいという提案になるので、それを差し替えて別のものにするのは難しい。そのか
わり、来年度提案されるときには、助言を付け加えることはできる。減額理由に付け
る附帯意見は、次回の審査・採択を行う協議会で話合えばよい。次に、実施後の評価
については、今後の課題として来年度の方針を決める際に、整理して決めていけばよ
いと思う。ただ、平成28年度の地域活動支援事業では、事務局が参加して、現場を
見た限りでは、委員さんの参加率は高くなかったと思う。書類や費用対効果だけで、
表せない部分もあるはずである。まして、経費よりも収入が増すような事業は、当然、

地域活動支援事業ではなく、民間がやっているはずである。全体を俯瞰して、評価の手法なども皆さんで考えていただけたらよいと思う。

【吉田会長】

今、話があったように、ただ評価をすることよりも、我々が自分の目で見ることが大事なことである。年度末に実績報告書が出てくるが、各提案団体の気持ちも考えながら今後につなげて良い事業にしていきたいと思うが、どうか。

【加藤委員】

今の意見は貴重だと思うが、各事業者に間接的に関わることになり、それはどうかと疑問に思うが、いかがか。委員がアドバイスを行うことによって事業に関わることはどうかと思う。それは地域活動支援事業の本質ではないと思う。

【吉田会長】

地域活動支援事業の補助金を採択だけすればよいという考えで、もっと良い方法を付け加えて行える事業にしようという考えはないのか。

【加藤委員】

減額採択された理由を知って、そこを踏まえて提案者が次年度検討すればよいのであり、協議会委員が口出しするのは立ち入りすぎだと思う。

【今井委員】

どちらの考えも最もだが、協議会委員は実際に事業を見ていない。意見を言うか言わないかは別として、今後は全ての事業を割り振りして、最低1人か2人でも提案事業の現地に足を運ぶことが必要だとは思う。この件についての議論も次回以降でよいと思う。

【吉田会長】

また機会があれば、このような話が出たときに話合い、対応していけばよいということにする。

以上で「①委員同士による意見交換」を終了する。ここで、事務局から追加の資料説明と提案がある。

【野口係長】

・参考資料により説明

【吉田会長】

減額案検討シートを採用するかどうかについて意見を求める。

【今井委員】

去年はたたき台をその場で見て、採択をしなければいけなかった。このシートは、各委員がどのように金額を配分するかを考えるということなので、賛成である。3グループに分れると、目の行き届かない部分が出てくるので、全員分をコピーして配布したらどうか。

【鷺澤委員】

賛成である。グループに分けると話しやすいが、全体の中で統一された意見が出てくるのでよいと思う。個人的には、必要ない事業を切ることもあるので、そのように意見を言わせていただきたい。

【吉田会長】

減額シートを採用するということでよいか。

(「よし」の声)

グループに分けてやるかどうかは、事務局はどのように考えるか。

【野口係長】

多数決で決めてもらえばよい。

【吉田会長】

全体会で討議することに賛成の委員は挙手願う。

(過半数挙手)

全体会で行うこととする。

【吉田実委員】

最後の集計確認の際に、金額等を入れてエクセルシートをプロジェクターで映せるか。

【野口係長】

できる。

【吉田実委員】

右側に配分残額も出るようにしてもらえば、予算が超過しているなかで最終的にどこを削り、どこを不採択にするのかの議論ができると思う。

【太田委員】

今井委員の話だと20人分コピーをするという意見だったが、パソコンの画面を見ながらやっていけばよいのではないか。

【橋本委員】

帳尻をどこで合わせるかの方向を知りたかったのだが、減額採択の対象となる事業のどの項目を減額するのか。中には割合で仮の額を設定するしかない場合も出てくるのではないかと思う。その辺はざっくりでよいか。

【今井委員】

採点を減額するにあたって確認したい。物品購入のみは駄目だということになっているが、結果的に物品購入だけになっている申請があった場合の判断をどうするか。不採択でよいのかどうか。次回の議論になるのかどうか分からないが、昨年度は全部採択して減額したが、今年度はどうするのかを考えておかなければいけない。

また、地域協議会の委員が提案者の場合に、採点には加わらないかどうかを、今のうちに決めておいたほうがよいと思う。

【吉田実委員】

それは条件として明記されていることなので、事務局が提案を受け付ける段階で、クリアしているはずであるので、議論の必要はない。

【橋本委員】

採択か不採択かについては、採点の中で適合性の×の数によって設定条件があったはずなので、各々の採点結果が不採択事業をあぶりだすことになる。

【吉田実委員】

条件にそぐわないということで、何年か前に意図的に相手の提案の点数を下げたケースもあった。×の数で無条件に不採択ではなく考慮したことがあったので、絶対条件ではない。

【野口係長】

平成28年度第10回の会議資料No.1で、採点のルールを見直して整理したものが一覧であるので、確認していただけたらと思う。また、提案させていただいた減額案検討シートでは、持ち寄ったときに誰の考えか分かるため、委員の名前を記名していただきたいのだが、いかがか。

【鷺澤委員】

秘密の部分が大きく、必ず情報は洩れてくると思う。誰が何を付けたかをオープンにする必要はなくて、事務局の控えとして取っておいて、分からなかったら会長が事務局に聞けばよいことだ。記名すると大変なことになる。

【山田センター長】

その部分を確認したかった。先ほどから何度も出ているが、利害関係の絡む団体が自分のところを甘く見ることがあるからである。曖昧にできないところなので、お聞きした。無理であれば匿名にしたいと思う。

【吉田実委員】

提案者から批判をされる可能性があるので、匿名のほうがよいと思う。

【吉田会長】

採決する。シートに名前を記入しないほうがよいと思う方は挙手願う。

(半数以上の挙手)

【谷委員】

減額案検討シートはいつ出していただけるのか。

【野口係長】

6月16日までに結果一覧表を作成するので、それと併せて郵送する。

【今井委員】

採点票を提出するときに関わってくるので、委員が自分の団体の採点を行うことについての部分だけは、今決めておかないといけない。公益を考えて、自分の団体だけでもちゃんと理解したうえで採点することを共通認識としていけば、採点してもよいということとしておく必要がある。

【野口係長】

ルールの中では委員が採点することができるということで事前にまとめているので大丈夫である。

【吉田会長】

その他、次回の日程等の説明を事務局に求める。

【野口係長】

・次回の協議会：6月21日（水）午後6時から 上越市役所木田庁舎 402・403会議室

【吉田会長】

次回の協議会では審査と採択を進めるので、全員出席していただきたいと思う。また。採点票の締め切りは、6月12日の正午までである。

【吉田会長】

委員から何かあるか。

(発言なし)

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。